

地域企業・産業資料デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する地域企業・産業資料のうち、印刷物および近代の文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い資料については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (5) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (6) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 27 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 15HP8021 の交付を受けて作成しています。

第六十回技術會議

第八部第六回會議議事要旨

一、審議事項

一、第一製鋼工場改造に關する件

二、開 催 昭和七年七月二十七日

三、出席者 別紙記載

四、議 事

イ 投資 本所舊製鐵廠設備は建設後三十餘年を経過し現在に於ては舊式且つ不經濟のものとなりたるに依り昭和四年に元づ舊設備、次に第一製鋼工場を洞岡に移轉し之に附屬せしむべき分塊及製鋼工場をも計畫されしが其の後状況變化し當初の目論見たる軌條工場は需要減のため電化を経たる現仕の軌條工場の設備補充と第二大形の復用とに依り新設の必要なきに至り株材工場の如きも現在に於て既に設備能力過剩の状態にあり、されば第一製鋼の洞岡移轉は第二次的

の問題とし現在の場所に於て之を以てするの妥あるべし。

本件は以前より志願中の問題なりしか最近製鋼部長よりも之に就し相談あり茲に關係者を招集して協議せんとする次第なり。

現在の軌條工場を改善して今後二十年間之を使用し得るや。

口 製鋼部長 然り。

ハ 役 監 軌條工場新設に對しては長官も異議あり、現在の軌條工場を改善するを任策とせん。

向第一製鋼の以ては現在の軌條の位置に於ては困難なるべし、洵間に移轉の件は實は其の點をも考慮せしものなり。

ニ 製鋼部長 第一製鋼及軌條工場の洵間移轉並に材料工場新設の根本主旨は軌條一貫主義に基き生産費低減にありと考へたり、而して軌條専門の工場の新設は近き將來に於ける軌條の需要増加に對し必須のものとし製鋼工場の移轉は寧ろ從屬的に定まるものと考へしか役監の御説の如く現在の軌條工場は之を改善すれば尙充分使用に堪へ

生産費も低トし若し能力に不足ある場合は第二大形に作り之を補ふ
とせば本員の當初の考へは全く壞れ第一製鉄工場の處置が先決問題
なり。

水産部長 製鉄所建設工場の洞向移轉は素より彼我採算の要ありん
も當時の状況は寧ろ打昇以外に第一製鉄所を移轉する、向舊軌條工場
は三〇萬噸の生産は無理なるに依り之を洞向に新設の要ありとせし
ものなり、

然るに現在に於ては事情を異にするか故に假りに洞向に軌條工場を
新設するとするも舊工場の減償償却を負擔して尙且つ之を有利に動
かし得るや否や疑問なり。

へ製鉄部長 第一製鉄所を洞向に移轉すれば軌條工場生産費は労力費に
於て約八〇錢、直接経費に於て約一圓低トし、銑鐵二五圓、一スク
ラツプ二五圓とするも三四圓六〇錢となり若し現在の洞向に於け
るか如く假りに銑鐵二三圓とすれば軌條の生産費は實に三二圓に低

下し設備費に對する減價償却の如きは容易に之を支辨なし得る見込
なり、されば若し資金めらは今洞岡に之を移轉するとも將來決して
不利ならずと思考す、而して第二案として洞岡に鋸片工場を設置す
る事に就き考究したし。

尙洞岡三〇萬圓程度ならは二〇〇〇圓の設備精練式混銑爐二套、一〇
〇圓の傾注式平爐三套乃至四套にて充分ならんも爐の形式や「スバ
ン」を共にする外原料運搬等の關係を考慮する時は作業に支障を及
ぼす事なく現在の場所に巧く收むる事は至難なるべし。但し當第一
汽船場及珪砂工場跡等を利用すれば場所にも可成餘裕を生じ工事
も楽となるべし。

ト投監 尙考ふべきは瓦斯の問題なり、剩餘瓦斯を利用せば瓦斯發生
爐を省き得んも一方に於て瓦斯「タンク」を必要とせん、されば瓦
斯「タンク」設備と瓦斯發生爐の操業と何れが有利適切なるや考究
を要す。

次に朝鮮工場は一ヶ年半にて之を建設し得るや。

ナニの部長 工事とならば兎も角計画より始むるとせば右の如くにて
は困難なるべし

同朝鮮工場の修繕に於ては朝鮮の生産を車に内及、朝鮮の需要を充
す程度に止むるか又は南洋等外に運出するかと問題なるべし。

リ蒙部長 朝鮮の如きはなるべく海外輸出に運出したし、

同聊か餘額に且れども現任の如く民衆に於ける二三の要請計画の如
に本邦の露市場の混亂を不すか如き状態は既に遺憾なり、如くは寧
ろ一方に於ては「スクラップ」に轉賣を謀し他方を露所よりはる片
を安値に市場に出して之を調節するを得るべしとせん、前述の如く片
工場設置案はこの見地に在るものなり。

又技監 鋼片は必ずしも本所より之を供給するの要なし、露所よりす
るも可なるべし、焦眉の問題は第一要として現任の疲弊せる設備
を改造して朝鮮を露所に製作するを緊要とせん、

六
向第一汽罐場及珣珣工場跡等を利用する事とせば將來五〇萬匁の
設備に擴張の餘地ありや。
ル 製鋼部長 然り。
ヲ 技監 工場収地關係に就ては八名崎託に調査を依託したし。

別紙

出席者（六名）

野田技監
久保田製鋼部長
京山鋼材部長
山縣工務部長
八名崎託
井村技術課長